

売れる
ネット
広告社
GROUP

売れるネット広告社グループ、 高性能GPUサーバーセンター構築・運営の新会社 『BCDC.Ai.GPU Data Center』設立

説明資料

売れるネット広告社グループ株式会社
代表取締役社長CEO

植木原宗平



<https://youtu.be/NHaxsjKttaU>
説明動画はこちら



Great
Place
To
Work.

Certified
SEP 2025-SEP 2026
JAPAN

Best
Workplaces

Great
Place
To
Work.

Best
Workplaces
for Women

Great
Place
To
Work.

Best
Workplaces
in Finance & Insurance

Great
Place
To
Work.

Great
Place
To
Work.

Asia's Best
Workplaces

16830033(04)

50

Technology Fast 50
2025 Japan WINNER

500

Technology Fast 500
2020 APAC WINNER

Deloitte

FINANCIAL
TIMES

HIGH-GROWTH
COMPANIES
ASIA-PACIFIC 2022

statista

statista

本件概要

高性能GPUサーバーセンターの構築・運営を行う

『BCDC.Ai.GPU Data Center株式会社』
を設立します！



本件概要



所在地

東京都港区台場2丁目3-1
トレードピアお台場 20階

創業

2026年4月(予定)

資本金

1000万円

事業内容

GPUサーバーセンターの
構築および運営

本件概要



GPU演算基盤は 産業全体の競争力を左右する基盤インフラ

GPUはもはや産業全体の競争力を左右する基盤インフラ
継続的かつ大規模な演算能力の確保が、
企業の戦略的優位性を決定づける時代が到来

生成AI

学習・推論の両局面で大規模GPU演算が必須

機械学習・ビッグデータ

高速並列処理が分析精度と速度を左右

ブロックチェーン

分散台帳の検証・処理に計算能力が直結

一方で、国内GPU演算基盤の深刻な供給不足 という市場課題がおこっている

限られた国内事業者

大規模なGPU演算基盤を安定的に確保できる国内事業者は限られており、多くの企業が海外クラウドへの依存を余儀なくされている

コスト・価格変動リスク

GPU利用コストの高止まりや価格変動リスクが企業経営に影響を与え、計算資源確保における不確実性が高まっている

データ主権・セキュリティ

海外事業者への依存は、データ主権やセキュリティの観点からも重大な課題を生じさせており、国内での解決策が求められている

本件概要

そこで、この社会課題を解決すべく
売れるネット広告社グループは
「BCDC.Ai.GPU Data Center株式会社」を設立し
「GPUサーバーセンターの構築および運営事業」
へ参入！



本件概要

BCDC.Ai.GPU Data Center株式会社事業内容

GPUサーバーセンターの 構築・運営

国内に大規模GPUサーバーセンターを自社で構築し安定的に運営

高性能GPU 演算環境の提供

最先端の演算環境を構築し、グループ内外のニーズに対応

AI・ブロックチェーン・ 暗号資産解析向け 計算基盤

特定用途に特化した計算基盤サービスを提供

計算資源を「中長期的な経営資産」として保有

GPU演算基盤を短期的な利用コストとしてではなく、

中長期的に価値を生み続ける経営資産として位置付ける戦略

当社グループはAI活用型マーケティング、データ分析、Web3・暗号資産関連事業など、GPU演算との親和性が高い複数の事業領域を展開しており、

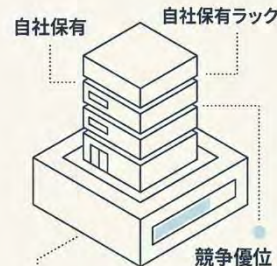
演算基盤の自社保有が競争力強化の鍵

短期コストと としてのGPU



- 外部クラウド依存
- 高コスト
- 不確実性

長期資産とし としてのGPU



- 自社保有
- 安定運営
- 競争優位

本件概要

短期・中期・長期の三段階展開

段階的な事業展開により、グループ内での活用を起点に外部収益化を図り、最終的には当社グループの戦略的資産として企業価値向上に貢献

短期施策

グループ内の演算需要を
集約・最適化

- ・ グループ需要を集約
- ・ 外部クラウドサービスへの依存低減
- ・ GPU利用に係るコスト構造最適化
- ・ 安定的な計算環境の確保

中期施策

蓄積した運用ノウハウで
外部企業向けサービスを展開

- ・ 専用設計による高負荷対応
- ・ 継続的な演算環境の安定供給
- ・ 国内データ主権の確保
- ・ 柔軟なカスタマイズ対応

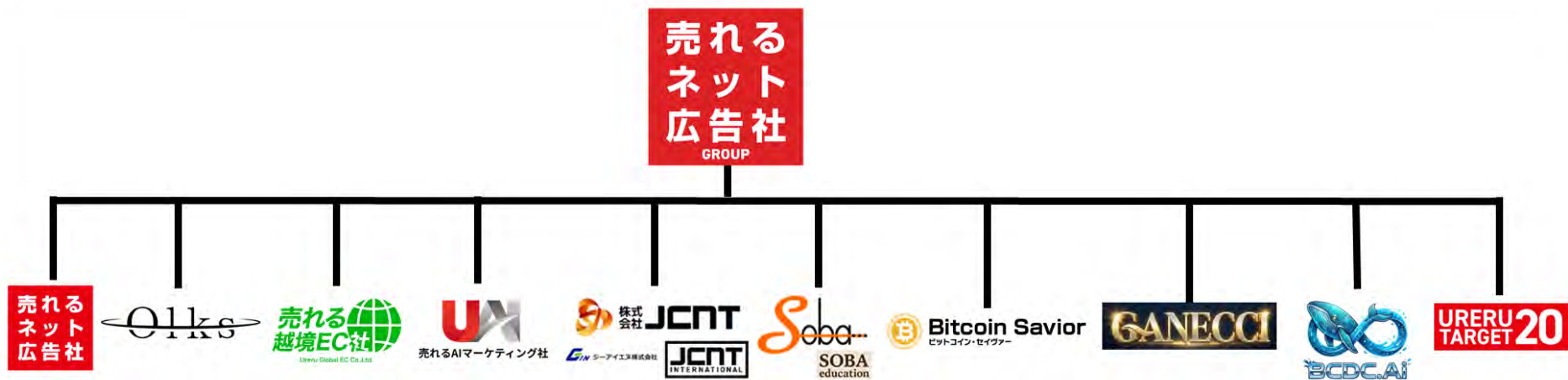
長期施策

バランスシートに蓄積される
戦略的資産として育成

- ・ 外部環境に左右されない事業運営
- ・ 新規事業/M&A支援
- ・ 持続的競争優位の確立による
企業価値向上

本件概要

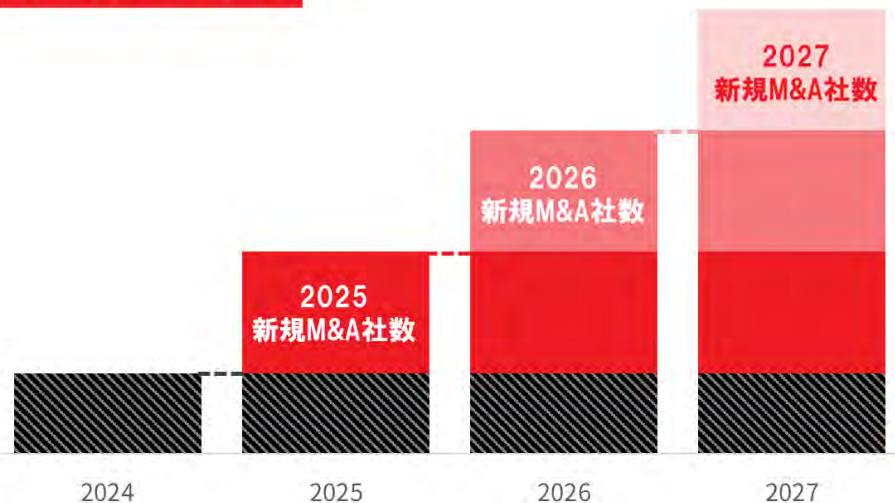
売れるネット広告社グループは
「BCDC.Ai.GPU Data Center株式会社」設立で
9社の事業会社を抱える持株会社体制へ移行！



本件概要

「子会社の増加イメージ」については、毎年複数件のM&A・新規子会社設立を実行することで、
2年以内(2027年7月末まで)に10社程度の子会社化を計画！

子会社の増加イメージ



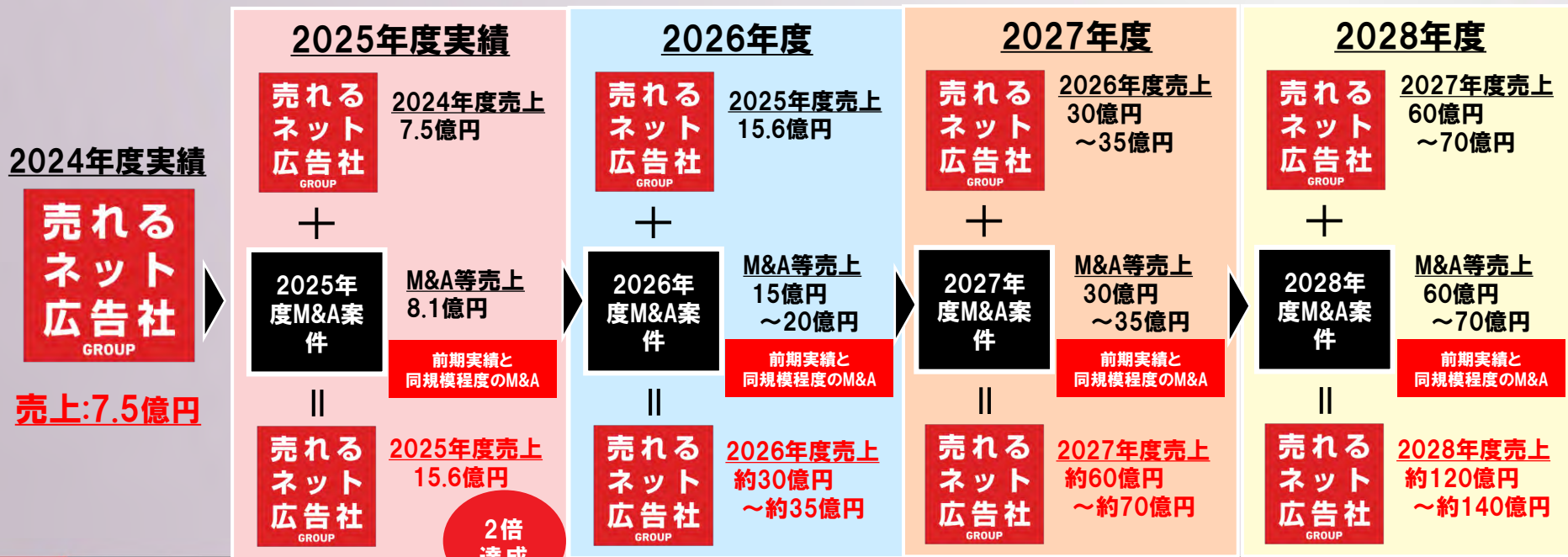
2027年7月までに
10社程度の
M&Aによる
子会社化を計画

本件概要

今後も「新会社設立」や「前年の売れるネット広告社グループ売上高」と同規模程度の売上高のM&Aを実行していく計画！

「**戦略的同規模M&A**」を実行し、グループ(連結)経営で**売上・利益の拡大を目指す！！**

【戦略的同規模M&Aイメージ図】※イメージ図であり確定情報ではございません。



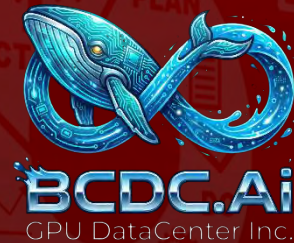
※2026年度中に追加のM&Aを実施予定であり
既存事業と新規M&Aの合算数字を記載

本件概要

今後は「既存事業の成長」・「M&A事業による成長」・「新規事業による成長」を融合して、
売れるネット広告社グループとして、「4年以内(2028年)を目途に売上高100億円=【Ureru100】」
および今後のプライム上場も見据え、時価総額250億円以上の実現を本気で目指す！！



売れる
ネット
広告社
GROUP



BCDC.Ai.GPU Data Center株式会社

事業内容について

BCDC.Ai.GPU Data Center株式会社
代表取締役社長CEO

磯貝浩資



Great Place To Work
Certified
SEP 2025-SEP 2026
JAPAN

Best Workplaces

Great Place To Work
JAPAN 2024

Best Workplaces
for Women
JAPAN 2024

Best Workplaces
in Finance & Insurance
JAPAN 2024

Great Place To Work
JAPAN 2024

Great Place To Work
JAPAN 2024

Asia's Best Workplaces
2021



50 Technology Fast 50
2025 Japan WINNER

500 Technology Fast 500
2020 APAC WINNER
Deloitte

HIGH-GROWTH COMPANIES
ASIA-PACIFIC 2022
statista



BCDC.Ai
GPU DataCenter Inc.

BCDC.Ai GPU DataCenter Inc.

AIの未来は、液浸（えきしん）冷却にある。

売れる
ネット
広告社
GROUP

売れるネット広告社グループ運営
東証グロース上場 9235





BCDC.Ai.GPU DataCenter株式会社

CEO 代表取締役
磯貝 浩資 (Isogai)

- ・ Bitcoinマイニング事業を経験
- ・ 日本初のコインマーケットを設立
- ・ AI×GPUデータセンターで日本のインフラを変革する

グーグルのデータセンター投資が「約150兆円を超える」可能性 独占インタビュー

3/5(木) 11:00 配信 11   JAPAN
Forbes

AaronP/Bauer-Griffin/GC Images

著者：フォーブスJAPAN編集部

タグ：#Google #AI #データセンター #150兆円投資 #TPU #アミン・バダット

生成AIの進化に伴い、米国テック業界では「計算資源」と「電力」の過酷な争奪戦が起きている。インフラ構築の成否が、企業の競争力を直接に左右するからだ。

この熾烈な競争下において、グーグルの新たなAIインフラ責任者アミン・バダットがフォーブスの独占インタビューで、今後の戦略を明かした。バダットは、同社が自社のデータセンター網に対して長期的な「多額の多額の投資」を続けると明言した。フォーブスが現在の投資水準を基に独自に計算したところ、その総額は今後1兆ドル（約157兆円。1ドル=157円換算）を超える可能性がある。

バダット氏は、インタビューの中で、「AIは私たちのデータセンターの設計思想を根本から変えようとしている。もはや単なるサーバーラックではなく、AIモデルを効率的に訓練するための巨大な『AIファクトリー』だ」と述べた。この投資は、独自のTPU（Tensor Processing Unit）の最新世代の展開や、より効率的な液冷技術の導入など、最先端のハードウェアおよびソフトウェアスタック全体に及ぶ。

特に、電力問題については、「持続可能なエネルギー源の確保が最大の課題」とし、グーグルが再生可能エネルギーへの長期的なコミットメントを強化すると同時に、データセンターのエネルギー効率を極限まで高めるためのAI活用についても言及した。

フォーブスの分析によれば、この1兆ドルという天文学的な投資は、競合するマイクロソフトやアマゾンウェブサービス（AWS）を圧倒する規模であり、AIインフラの覇権を巡る競争は、資金力と技術力の極限の闘いへと突入した。

コメント

AI競争で勝つための電力戦



グーグル自社製チップTPUが連携

BEDC.Ai

「東京タワーの隣にデータセンター」

都心の一等地ですら、DCが必要な時代



都心の一等地にDCを建てる



採算が取れるほどの需要爆発



今こそDC最大のチャンス

事業者：NEXTDC (豪州・ASX100上場)
所在地：東京都港区芝公園 (東京タワー隣接地)
規模：地下4階・地上6階 / IT容量 28MW
完成予定：2030年後半
用途：AI対応 次世代データセンター

「東京の一等地が外資のデータセンターになる。
今やらないと間に合わない。」

データセンター累積総投資額

2000年～2030年 世界が注ぎ込んだ資金の全貌

2030年
1,505兆円

2025年
492兆円

2020年
203兆円

2015年
96兆円

2010年
40兆円

2005年
13兆円

2000年

1,500兆円
\$10 Trillion

30年間の累積設備投資額

2024年
年間投資額
68兆円

Dell'Oro Group

2030年
年間投資額
255兆円

Dell'Oro Group 予測

2025-2030
6年間だけで
1,000兆円超

McKinsey

データ出典: マッキンゼー・アンド・カンパニー(2025年4月レポート) / デローロ・グループ(2026年2月 DC市場調査)
IoTアナリティクス(2025年11月 DC機器支出調査) / S&Pグローバル(2025年11月 米国DC需要分析)

データセンター投資の全貌 — 1,500兆円の衝撃

過去

2000-2020

2000-2005
13兆円

2006-2010
27兆円

2011-2015
56兆円

2016-2020
107兆円

2000-2005 2006-2010 2011-2015 2016-2020

累積203兆円

現在

2021-2025

2021-2025

289兆円

2021-2025

AI革命で加速

年間CapEx: 2024年 68兆円 → 2025年 105兆円

AI需要爆発

GPU計算力

液浸冷却技術

ハイパースケールDC

累積総額

1,500兆円

(\$10 Trillion)

未来

2026-2030

2026-2030

1,012兆円

6年で1,000兆円超

年間CapEx: 2030年 255兆円

データ出典: マッキンゼー・アンド・カンパニー (2025年4月レポート) / デローロ・グループ (2026年2月 DC市場調査) /
IoTアナリティクス (2025年11月 DC機器支出調査) / S&Pグローバル (2025年11月 米国DC需要分析)

BCDC.Aiがこの市場に参入する理由

それは、AIの爆発的普及にある。

AI市場規模
20年で670倍



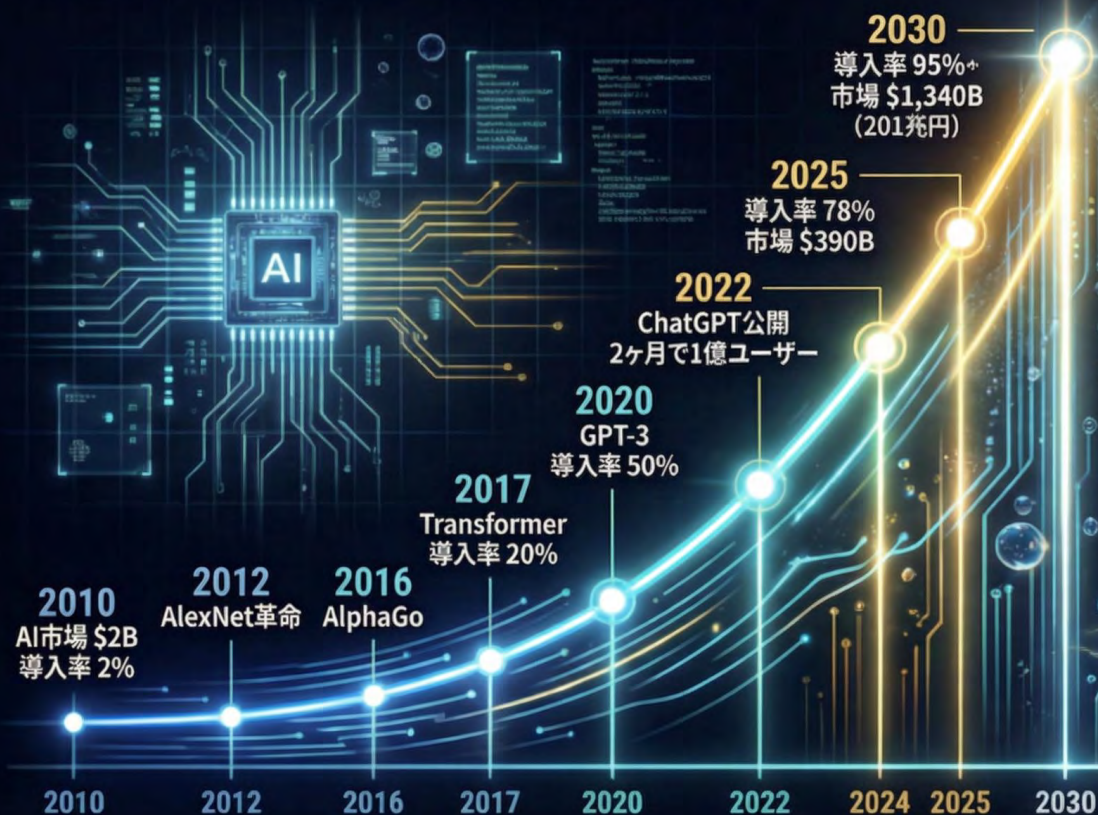
企業AI導入率

2017年 **20%** → 2025年 **78%**



BCDC.Aiが参入する理由 — AI普及率の爆発

なぜ、データセンターが必要なのか？



AIが普及すればするほど、GPU計算力が必要になる

GPU計算力が必要になれば、データセンターが必要になる

データセンターには液浸冷却が必要になる

だから、**BCDC.Aiが参入する。**



データ出典: マッキンゼー・アンド・カンパニー / スタンフォードHAI AIインデックス (2025年版) / スタティスタ / グランドビューリサーチ / フォーブス

データ出典: マッキンゼー・アンド・カンパニー / スタンフォードHAI AIインデックス (2025年版) / スタティスタ / グランドビューリサーチ / フォーブス

完成予想図 近未来サーバーセンター 外観



- 電力インフラ隣接を前提に設計
- コンテナから大規模棟へ拡張可能
- 安全とスケールを両立

⚠ データセンター電力危機 ⚠

莫大な電力と広大な土地 この危機をどう乗り切るのか？

POWER CRISIS

電力消費量の爆発

- 2024年: 415 TWh (世界の電力の1.5%)
- 2030年: 945 TWh (日本の年間総電力消費を超える)
- 米国ではDCがアルミ・鉄鋼・セメント・化学品の合計を超える

- AI特化型DC 1棟 = 10万世帯分の電力
- Goldman Sachs: 2030年までに165%増

LAND CRISIS

土地不足の深刻化

- AI DC最低200エーカー (東京ドーム17個分) 必要
- 1GW DC = 500エーカー (建設費1.5兆円)
- 米国: 11GWの供給不足 (2025年)

- DC容量需要: 2030年までに3倍以上 (McKinsey)
- 送電網整備に5~10年 DCは2~3年で完成 ギャップ

この危機を解決する鍵は、液浸冷却にある



データセンターの危機

莫大な電力。広大な土地。時間との戦い。

電力の壁

945 TWh

2030年のDC電力需要 (IEA)

= 日本の年間総電力消費を超える
2024年の2.3倍に急増

米国: 電力需要増加の半分がDC

土地の壁

200エーカー

AI DC 1棟に必要な最低面積

= 東京ドーム17個分

1GW DC建設費: 1.5兆円

米国: 11GW供給不足 (2025年)

時間の壁

5~10年

送電網整備に必要な期間

DC建設: 2~3年で完成

致命的なギャップ

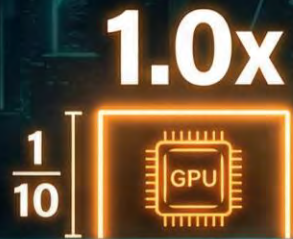
電力が来ない = DCが動かない

この危機の突破口 それが液浸冷却技術である。
消費電力40%削減。スペース60%削減。

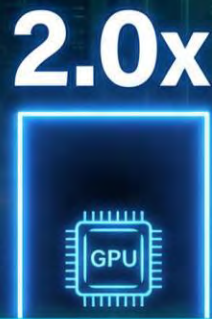


NVIDIA GPU 性能の劇的進化

AI推論処理能力 相対性能 (H100 = 1.0x)



H100
TDP: 700W
空冷OK
(AWS主流)



H200
TDP: 700W
メモリ強化



10.0x



B200
TDP: 1,000W
空冷× → 液浸冷却○
次世代最強

なぜAWSはH100を使うのか？

答え：B200の1,000Wを空冷では冷やせないからだ。

H100

TDP: 700W

空冷で運用可能

GPU温度: 55~71°C



OPERATIONAL

+43%

B200

TDP: 1,000W (+43%)

空冷では熱暴走

GPU温度: 95°C超でスロットリング

一部OEMは空冷版を廃止



CRITICAL

Sources: Supermicro白書 Dell Oro Group N

BCDC.Aiの答え：液浸冷却でB200を使いこなす

最先端「液浸（えきしん）冷却システム」の採用



- ✓ B200 (1,000W) を**50°C**で安定稼働
- ✓ サーマルスロットリングを完全排除
- ✓ 熱伝導効率は空冷の**約1,000倍**
- ✓ 消費電力**40%削減**・スペース**60%削減**
- ✓ NVIDIA B200 × 1,000基のフルパフォーマンスを実現

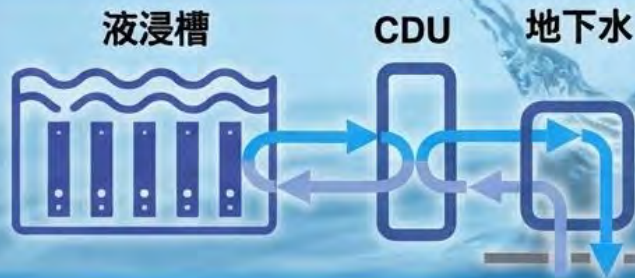
空冷方式と液浸冷却方式の消費電力比較(1)

空冷と液浸冷却の構成比較

空冷



液浸冷却



空冷と液浸冷却の消費電力の比較

冷却設備



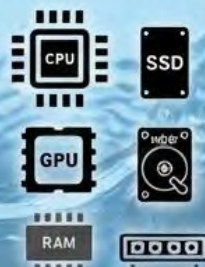
空調
冷水設備

40
+%

冷却設備

▼95
%

ICT機器



ファン

サーバ・
ストレージ・ネット
ワーク機器

サーバ・
ストレージ・ネット
ワーク
機器

ICT機器

▼25
%

空冷

液浸冷却

世界を制する計算力：NVIDIA B200 × 1,000

圧倒的なPOWER

- ✓ B200 (1,000W) を50°Cで安定稼働
- ✓ サーマルスロットリングを完全排除
- ✓ 熱伝導効率は空冷の約1,000倍
- ✓ 消費電力40%削減・スペース60%削減
- ✓ NVIDIA B200 × 1,000基のフルパフォーマンスを実現

計算力が富を生み出す —— 永続するAI 永続するAIエコノミー

場所貸しではない。計算力が直接、富を生み出す。

GPUがあれば天下無双

- Bitcoin Savior社が埋蔵ウォレットをどんどん解除
- 収益源泉：1,447億円の埋蔵金発掘からの成果報酬（40～50%）
- エコシステム：GPU計算力 → AI解析 → 資産発掘 → 収益の循環





AIの未来は、液浸^(えきしん)冷却にある。

歴史を変えるインフラに、期待せよ

BCDC.Ai GPU DataCenter Inc.



投資家の皆様には、
ぜひ当社の経営方針と基本戦略をご理解いただき、
グループ(連結)経営で
成長し続ける当社を見守っていただければと存じます。

今後も世界中にたくさんのドラマを創ります！



**売れる
ネット
広告社**
GROUP

**売れる
ネット
広告社**
GROUP

売れるネット広告社グループ株式会社

東証グロース市場(証券コード:9235)